



アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)に気付き、意識しよう

男女共同参画を実現するための、大切なキーワードの一つに、「アンコンシャス・バイアス」という言葉があります。アンコンシャス・バイアスとは、無意識の偏った物の見方のことで、「無意識の偏見」「無意識の思い込み」とも言われます。

アンコンシャス・バイアスの例

- ・相手や自分に対して「男らしく」「女らしく」と思うことがある。
- ・性別や世代、学歴などで「こういう人」と決めつけたり、接する態度が違う。
- ・男性は、家庭よりも仕事を優先して当たり前と思う。
- ・家事や育児・介護は女性の方が向いていると思う。

自分自身の思い込みや偏見に気付くことが、多様性を認め合う社会の第一歩です。



アンコンシャス・バイアスは、日常生活や家庭にあふれていて、誰にでもあるものです。私たちは、過去の経験や聞きしたことに影響を受けて物事を判断していくため、アンコンシャス・バイアスそのものに良し悪しはありません。しかし、その思い込みがきっかけとなり、知らず知らずのうちに相手を傷つけたり、自分や相手の可能性を狭めているかもしれません。

「相手のことを決めつけない」「自分自身の思い込み、偏見に気付く」という意識を持ち、自分のモノの見方や捉え方と向き合ってみませんか。

献血バスが来ます

400mL 献血にご協力下さい

日時： 8月26日(金)
9:00 ~ 11:30
13:00 ~ 16:00

会場： 基山町保健センター

【共催：基山ライオンズクラブ】
血液(赤血球製剤)は有効期限が2日間しかありませんので毎日60~100名分の血液を確保し続けていかなくてはなりません。患者さんの尊い命をつなぐ献血にあたたかいご協力をお願いします。
※献血に行こう!と、思ったら事前予約!!
新型コロナウイルス感染症対策の観点から献血会場の混雑を避け、よりスムーズにご案内するため事前予約をおすすめしています。
<初回やお久しぶりの方は「電話予約」・ラブラッド会員は「Web予約」>

 佐賀県赤十字血液センター
佐賀市八丁町10番20号
☎0952-32-1011

<https://www.bs.jrc.or.jp/bc9/saga/>



あなたの献血で助かる命があります

献血ってなぜ必要なの?

- 1 ガンなどの病気治療等で毎日輸血が行われていますが、血液はまだ人工的につくることができず、すべて献血によりまかなわれています。
- 2 血液は生きた細胞であるため長期間保存できません。
- 3 献血をいただく方の健康を守るため、同じ人が短期間に何度も献血することができません。

皆さま一人一人の献血へのご理解と継続的なご協力が必要です!

●献血の基準

※献血バスでは、400mL献血をお願いしています。

項目	年齢	体重	最高血圧	血色素数	年間献血回数
全血献血(400mL)	男性:17~69歳※	男女ともに50kg以上	90mmHg以上	男性:13g/dL以上 女性:12.5g/dL以上	男性:3回以内 女性:2回以内
	女性:18~69歳※				

※65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までに献血の経験がある方に限られます。

●安全のため献血前にご確認ください

患者さんにより安全な血液をお届けするため、以下の項目に該当する方は献血をご遠慮いただいています。

- 海外から帰国(入国)して4週間以内の方
 - この3日間に出血を伴う歯科治療(抜歯・歯石除去等)を受けられた方
 - 輸血や臓器の移植を受けたことがある方
 - がん、急性心筋梗塞、脳卒中など過去に大きな病気の既往がある方
 - 薬や病気の種類によって献血者の体調を最優先に考慮し、医師の判断で献血をご遠慮いただく場合があります。
 - 服薬中でも献血できる場合があります。事前にお問合せ頂くか、おくなりノートをご持参ください。
- ※【血圧のお薬(降圧剤)について】
降圧剤の服用をされていても、合併症がなく当日の血圧が安定していれば献血が可能となりました。



6/30 第104回 佐賀美術協会賞受賞

第104回佐賀美術協会展(美術展)にて、アトリエ石田の石田 由美子様が、工芸部門で佐賀美術協会賞を受賞されました。

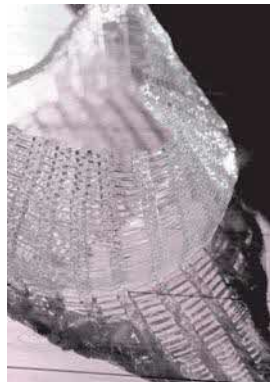
題目は「木漏れ日のスタジアム」。鳥栖のスタジアムがモチーフで、歓声がかたまるようなイメージをもとに制作されました。以前サッカーの試合を観戦した際の”歓声””感動””期待””未来”など様々な感情がこの作品に込められています。

ドイツの地でステンドグラスと出会って40年目、そして基山でガラス工房を開いて25年目と節目となる今年、なにか新しいことをしたい!と思い立ち、応募をしたと話す石田様。

初出展で初の受賞、誠にありがとうございます。



▲受賞された石田様



▲初の立体作品で、約2,200ものピースを積み重ねて制作

6/29 第1回 町長サミットが開催!

6月29日、江北町のみんなの公園で、県内10町の首長が一堂に会するイベント「町長サミット」が開催されました。

第1回目となる今回は、「わが町自慢」と称し、各町自慢の特産品を紹介する形でそれぞれの町の魅力をPRしました。基山町からは昨年創業100年を迎え、地元そして九州を中心に人気を誇るサンポー食品さんの商品を紹介しました。



▲「わが町自慢」の様子



▲県内10町の首長が集結!

7/8 日本食品衛生協会 全国大会出場を町長にご報告!

7月8日、モール商店街の飲食店「うえちゃん家」を営む上田 昭弘様が町長を訪問されました。

上田様は、第63回公益法人日本食品衛生協会九州ブロック大会に出場し、「コロナ禍でのHACCPの重要性」に関する体験発表を行い、見事優勝に輝きました。

上田さん含め佐賀県代表として2名が10月に東京で開催される全国大会に出場されるとのことです。

このたびは誠にありがとうございます。

優勝された上田様(左) ▶



6/30 ライチの摘み取り体験

6月30日、「ミキファームきやま」にて基山保育園児(年長さん)を招いたオープニングイベントが開催されました。



このオープニングイベントには、(有)ミキファーム社長 三木 郷志様、松田町長、第二区長 長野 辰巳様が出席され、テープカットが行われました。その後、保育園児によるライチの摘み取り体験、そして試食を行いました。



▲左より三木社長、町長、園児代表、長野区長